

# 試行錯誤しながら より丁寧で安心できる 野菜づくりを。

## 野菜づくりを。

ながさわ ひとし  
**長澤 均さん**  
(66歳)



ながさわ ひとし  
**長澤 均さん**  
(66歳)

- ① 農業を始めたきっかけについてお聞かせください。

A 4年前に生産緑地耕作の継承方策を思案していた際、農地は自分が耕作出来る間は、健康づくりも兼ねて野菜を作つていこうと思いました。遡ること52年前、今見える栗生団地がある付近一帯は、広大な田んぼであります。我が家は先祖代々からの農家でした。また、70年前に祖父が若くして亡くなり、その当時は農業機械など無く、父は牛などを使って苦労しながら力仕事の農業を引き継いでいました。

その話を聴いていましたので、父がやつてきた農業を引き継ぐという使命感があります。しかし、父はお米作りを中心の専業農家であつた為、私が農業を始める際は野菜づくりに関しては何も知識がありませんでした。そこで農協の「農業講座初級・中級編」で

- 座学を、羽曳野市内にある府立農業大学校に1年間(週に1回・年40回)朝昼2時間ずつの座学と実習を学びました。そのような農業講座に通つて一人で一から学んで試行錯誤しながら作つてきました。この歳になつてから学校に通うと雑学がたくさんある分、スッと頭に入つてきて理解度が高くなり、勉強することも野菜づくりもとても楽しいです。これらも、のめり込むきっかけになりましたね。

- ① 生産のこだわり・美味しい作物を作るコツは何ですか。

A 品種にこだわっています。特にナスは甘くて柔らかい「黒秀(こくしゅう)」という品種に出会つて、自分でラベルを作つて出荷しています。この品種は苗が売られていません。3月~4月の間に自分で種まきをし、手作りした簡易ビニールで加温して

て試行錯誤しています。今年チャレンジしているのは「ホーム桃太郎」という品種の大玉トマトです。こちらも種から栽培しています。肥料をあげすぎてもうまくいきません。色んな情報を近所の生産者の方から仕入れて試して、野菜そのものをよく観察することが良いものを作り、たくさん作るコツだと思っています。

- ① 農業をしていて大変だったことはありますか。

A ズッキーニ(ウリ科カボチャ属)などは、野菜のご機嫌を伺う作物なので頻繁に様子を見てあげないとうまくいきません。出荷用の農地が自宅から少し離れており、毎朝見にいく事も出来ず、病気の発見が遅れてしまい、うまくいかなかつた経験があります。

自分で一から覚えていかないといけなかつたことも苦労したことの一つです。作物に虫が出たり、病気になつたこともあります。ただ、失敗を繰り返し、色々試して学んだこともたくさんありました。ハウツーを身につけて、自分で対応が出来るようになつた自信に繋がりました。難しいところでもあり、野菜づくりの醍醐味ですね。

① おススメの食べ方があれば教えてください。



栽培品目  
ナス・にんじん・トマト  
きゅうり・キウイ・キャベツ  
玉ねぎ・じゃがいも・レタス

ご夫婦でトマトの収穫

秋頃収穫予定のキウイが  
たくさん実をつけている



自宅近くではナス(筑陽)を栽培

黒秀(紫彩)

